

万国のプロレタリア、被抑圧民族
団結せよ！
マルクス・レーニン・毛沢東主義の旗の下
プロレタリア世界革命を遂行せよ！
日本マルクス・レーニン主義者同盟

赤光

1970年

6月27日
号外

編集人 日本マルクス・レーニン主義者同盟
発行所 レボリューション社
〒100 東京都千代田区新大塚2-8-4 (専売会館)
電話 (03) 384-0877 郵政 東京8076
関西支社 大阪府大阪市淀川区東三国1-11 11-6
電話 (06) 71-8479 郵政 大阪42691
九州支社 福岡市南区南門外1-11-6
電話 (092) 574-4818 郵政 福岡808
東北支社 仙台市青葉区大森1-1-35
電話 (022) 253-1294

6月決戦勝利を70~72年大激動へ



ML軍団、麻布署を襲撃(6.23)

日本—沖縄—アジアの 革命的合流をかちとろう

革命的合流の形成は、日本、沖縄、アジアの革命闘争の発展と共に進んでいく。日本革命の勝利は、アジア革命の発展に大きく貢献する。日本革命の勝利は、アジア革命の発展に大きく貢献する。日本革命の勝利は、アジア革命の発展に大きく貢献する。

革命的人民はML同盟に結集せよ

革命的人民は、ML同盟に結集せよ。革命的人民は、ML同盟に結集せよ。革命的人民は、ML同盟に結集せよ。革命的人民は、ML同盟に結集せよ。革命的人民は、ML同盟に結集せよ。

ML軍団の進撃と大衆決起

ML軍団の進撃と大衆決起。ML軍団の進撃と大衆決起。ML軍団の進撃と大衆決起。ML軍団の進撃と大衆決起。ML軍団の進撃と大衆決起。

7.7 盧溝橋事件三三周年

日帝のアジア再侵略阻止
人民大集会
七月七日午後六時 集会所未定(予定)
主催 七・七集会実行委員会

ML同盟大政治集会

七月六日(月)午後五時三〇分開場
日比谷野外音楽堂(日比谷公園内)
基調報告 M同盟 鈴木 迪夫
書記長
あいさつ 戸村 一作氏、松岡洋子氏他
闘争報告 沖縄解放戦線 ML軍団他
映 画 「六月決戦」(予定)
主催 日本マルクス・レーニン主義者同盟

7.6 ML同盟大政治集会 5時30分 日比谷野音

ML派に狂気の弾圧

さらなる進撃を粉砕せよ

さらなる進撃を粉砕せよ。さらなる進撃を粉砕せよ。さらなる進撃を粉砕せよ。さらなる進撃を粉砕せよ。さらなる進撃を粉砕せよ。

さらなる進撃のため 戦間資金カンパを要請する

日本マルクス・レーニン主義者同盟
戦間資金カンパを要請する。戦間資金カンパを要請する。戦間資金カンパを要請する。戦間資金カンパを要請する。戦間資金カンパを要請する。

七・六 ML同盟大政治集会
七・七集会へ

ML軍団の死闘で6月決戦大昂揚

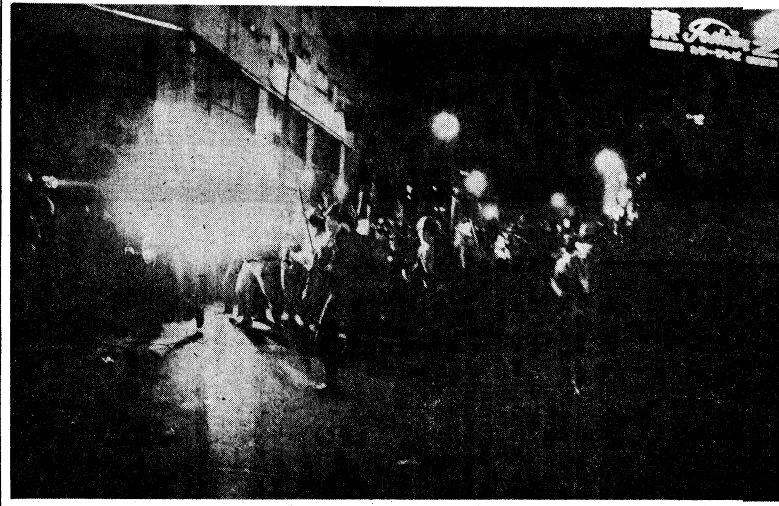
6.23全国で人民の怒り爆発

明治公園には五万七千名

七〇年六月決戦は、首都を中心とする百万の人民の決死とML軍団の武装力闘争の真徴として圧倒的にかちこられた。六・二三人民武装大会における戦闘宣言は、六・四代々木公園結集の七万余に大いに形成され、大衆の大衆でのML軍団の武装闘争にむけて爆発化された。六・四結集における勝利は全国での連続的決戦をうけつた。六・二三、明治公園を埋め尽くす大決戦を築いた。

ML軍団、麻布署を襲撃 遊撃隊、爆弾で激闘 内濠通り

六日、五、六日連続で麻布署に襲撃したML軍団の遊撃隊は、内濠通りを襲撃した。遊撃隊は、麻布署に突入し、警備隊と激闘を繰り返した。遊撃隊は、麻布署の建物に爆弾を投じ、激闘を繰り広げた。遊撃隊は、麻布署を襲撃し、警備隊を打ち退けた。遊撃隊は、麻布署を襲撃し、警備隊を打ち退けた。遊撃隊は、麻布署を襲撃し、警備隊を打ち退けた。



名古燃では一万八千がデモ
六・二三、明治公園には五万七千名
六・四、代々木公園には七万余が結集
六・二三、明治公園を埋め尽くす大決戦を築いた。

六・二三、明治公園には五万七千名が結集し、大衆の怒りを爆発させた。六・四、代々木公園には七万余が結集し、大衆の怒りを爆発させた。六・二三、明治公園を埋め尽くす大決戦を築いた。

三ノ宮駅前集會
新海でも空前の昂揚
六・二三、三ノ宮駅前には三万七千名が結集し、大衆の怒りを爆発させた。六・四、代々木公園には七万余が結集し、大衆の怒りを爆発させた。

二万人が御堂筋制圧 大阪
解放戦線に大衆の共感あつまる
六・二三、御堂筋には二万人が結集し、大衆の怒りを爆発させた。六・四、代々木公園には七万余が結集し、大衆の怒りを爆発させた。

四千人が米領事館へ 福岡
22日には府庁まで七
六・二三、米領事館には四千人が結集し、大衆の怒りを爆発させた。六・四、代々木公園には七万余が結集し、大衆の怒りを爆発させた。

全関西総決起集會
七月四日午後五時 大阪市立労働会館
主催 全国都府・連盟の会・支隊共闘
七月四日午後五時 大阪市立労働会館

収用 審理裁決を粉砕
強制収用実力阻止へ闘い続く
三里塚

七月六日発売
A版 二〇〇円
B版 一五〇円

編集・発行／アジア革命研究会
東京都文京区本郷1-22-8 渡辺方
(レボリューション社でも取扱います)

アジア革命 創刊号

帝国主義と民族植民地問題
インドナ革命の意義と現段階
在日朝鮮人問題の現局面と
日本人の任務

- 1 法的地位問題
- 2 朝鮮高校生への集団暴行問題

七・七集會へのアピール

次号七月二日付は、「赤光」発行以来
百号にあたります。記念特号として発
行いたします。

一編集部

マルクス・レーニン主義者同盟理論機関誌

マルクスレーニン主義

第1号 発売中

A5版 184頁 価350円(千50)
レボリューション社発行

の到達点を示す待望の理論機関誌

アジア革命の現局面と
六月決戦の展望
レーニン主義から
毛沢東主義へ
一編者による解説

編者 南村 明
過渡期論 編 南村 明
十月決戦の勝利から
革命の七〇年代へ